



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社タカチホ

上場取引所 東名

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 無

決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 7,998	% 16.4	百万円 558	% 21.5	百万円 562	% 21.7	百万円 424	% 20.7
2025年3月期第3四半期	6,871	6.5	460	0.8	461	1.2	351	△4.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 437百万円 (24.8%) 2025年3月期第3四半期 350百万円 (△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 607.59	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	545.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 4,843	百万円 2,670	% 55.1	円 銭 3,819.00
2025年3月期	4,288	2,253	52.6	3,238.76

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,670百万円 2025年3月期 2,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 9,600	% 12.5	百万円 485	% 11.0	百万円 480	% 10.0	百万円 340	% 10.2	円 銭 488.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	727,500株	2025年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	28,162株	2025年3月期	31,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	697,969株	2025年3月期3Q	644,604株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善し、訪日外国人数も足元で一部鈍化が見られるものの全体では前年を上回るペースが続くなど、内需が底堅く推移しました。

一方で、原材料価格やエネルギーコストの高止まりおよび物価高騰、不安定な国際情勢や米国の通商政策による景気動向への影響、観光事業においては慢性的な労働力不足と人的コストの上昇など、先行きの不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「革新・変革に向けた事業再構築一」をスローガンに掲げ、生産性向上のための人的投資、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化、組織力強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,998百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は558百万円（前年同四半期比21.5%増）、経常利益は562百万円（前年同四半期比21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は424百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化をはかり、積極的な商品展開としてIPビジネスへの取り組みを行った他、特需として大阪・関西万博への商品供給などにより、売上高は6,668百万円（前年同四半期比24.3%増）となり、営業利益は655百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、観光需要の緩やかな増加を受け順調に推移しましたが、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響により、売上高は549百万円（前年同四半期比18.6%減）となり、営業利益は56百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、物価上昇による原材料価格およびエネルギーコスト高止まりの影響を受けましたが、順調に価格転嫁が出来たこと、また、特需として大阪・関西万博への製品供給などにより、売上高は217百万円（前年同四半期比30.6%増）となり、営業利益は64百万円（前年同四半期比78.7%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、熱波イベントやヨガ教室を積極的に開催し来客数は増加しましたが、水道光熱費等の上昇が上回り、売上高は238百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業利益は29百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の拡大によりテナントの入居は安定推移し修繕費用も抑えられたことから、賃料収入は109百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、営業利益は39百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響があったものの、需要に合わせ商品構成を見直し値引き販売を抑えた結果、売上高は177百万円（前年同四半期比38.2%減）となり、営業損益は3百万円の営業損失（前年同四半期は7百万円の営業損失）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。テイクアウト商品の取り扱いを終了したほか、原材料価格およびエネルギーコスト高止まりから価格改定したものの来客数が減少し、売上高は37百万円（前年同四半期比6.3%減）となり、営業利益は0百万円（前年同四半期比73.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ590百万円(26.9%) 増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が235百万円、商品及び製品が183百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円(1.7%) 減少いたしました。これは主に無形固定資産が8百万円、投資その他の資産が29百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円(12.9%) 増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円(33.3%) 増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が247百万円、未払法人税等が26百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は822百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円(19.5%) 減少いたしました。これは主に長期借入金が192百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円(6.8%) 増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円(18.5%) 増加いたしました。これは主に利益剰余金が389百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.14%(前連結会計年度末は52.56%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を修正し、売上高9,600百万円、営業利益485百万円、経常利益480百万円、親会社株主に帰属する当期純利益340百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	929,651	1,133,734
受取手形及び売掛金	714,905	950,540
商品及び製品	436,536	620,129
原材料及び貯蔵品	52,557	47,575
その他	59,054	30,500
貸倒引当金	△1,241	△700
流动資産合計	2,191,464	2,781,780
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	522,432	504,556
土地	902,820	902,820
その他（純額）	97,093	116,967
有形固定資産合計	1,522,345	1,524,344
無形固定資産	147,082	138,905
投資その他の資産		
敷金及び保証金	92,189	85,238
その他	344,554	321,917
貸倒引当金	△9,036	△8,533
投資その他の資産合計	427,707	398,621
固定資産合計	2,097,135	2,061,871
資産合計	4,288,600	4,843,651
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	421,022	668,684
短期借入金	257,244	257,244
未払法人税等	46,730	73,551
賞与引当金	55,318	65,499
契約負債	13,346	12,871
その他	218,981	272,268
流动負債合計	1,012,643	1,350,120
固定負債		
长期借入金	717,069	524,153
資産除去債務	97,545	98,602
その他	207,431	200,006
固定負債合計	1,022,045	822,761
負債合計	2,034,688	2,172,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	747,563	755,177
利益剰余金	553,491	942,777
自己株式	△62,002	△55,549
株主資本合計	2,239,052	2,642,405
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,858	28,364
その他の包括利益累計額合計	14,858	28,364
純資産合計	2,253,911	2,670,769
負債純資産合計	4,288,600	4,843,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,871,134	7,998,128
売上原価	4,928,089	5,681,306
売上総利益	1,943,044	2,316,822
販売費及び一般管理費	1,482,929	1,757,855
営業利益	460,114	558,966
営業外収益		
受取利息	51	310
受取配当金	983	1,644
受取事務手数料	434	323
受取手数料	3,584	3,488
その他	2,980	2,608
営業外収益合計	8,035	8,375
営業外費用		
支払利息	5,699	4,379
その他	470	607
営業外費用合計	6,170	4,987
経常利益	461,979	562,354
特別利益		
助成金収入	348	58
特別利益合計	348	58
特別損失		
固定資産除却損	80	72
特別損失合計	80	72
税金等調整前四半期純利益	462,247	562,339
法人税、住民税及び事業税	83,955	101,334
法人税等調整額	26,858	36,923
法人税等合計	110,814	138,258
四半期純利益	351,432	424,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,432	424,081

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	351,432	424,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△912	13,506
その他の包括利益合計	△912	13,506
四半期包括利益	350,519	437,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,519	437,587
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	61,094千円	67,362千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約から生じる収益	5,363,735	674,955	166,412	228,292	—	287,378	6,720,774	40,075	6,760,849	—	6,760,849
その他の収益	—	—	—	—	110,284	—	110,284	—	110,284	—	110,284
外部顧客への 売上高	5,363,735	674,955	166,412	228,292	110,284	287,378	6,831,058	40,075	6,871,134	—	6,871,134
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	59,381	—	211,345	—	21,600	—	292,326	115,098	407,425	△407,425	—
計	5,423,117	674,955	377,757	228,292	131,884	287,378	7,123,385	155,174	7,278,559	△407,425	6,871,134
セグメント 利益又は 損失(△)	531,189	69,138	36,126	32,121	37,217	△7,395	698,397	1,426	699,824	△239,709	460,114

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 顧客との契約か ら生じる収益	6,668,667	549,627	217,340	238,133	—	177,589	7,851,358	37,538	7,888,896	—	7,888,896
その他の収益	—	—	—	—	109,231	—	109,231	—	109,231	—	109,231
外部顧客への 売上高 セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,668,667	549,627	217,340	238,133	109,231	177,589	7,960,590	37,538	7,998,128	—	7,998,128
計	6,703,347	549,627	498,837	238,133	130,831	177,589	8,298,368	151,340	8,449,708	△451,580	7,998,128
セグメント 利益又は 損失 (△)	655,612	56,939	64,550	29,806	39,326	△3,046	843,188	371	843,560	△284,594	558,966

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用で
あります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。